

高山市の1年間

1月から6月の主なできごと

ブラックブルズ、本拠地で念願の初勝利(2月20日)

日本ハンドボールリーグ女子の飛驒高山ブラックブルズ岐阜が飛驒高山ビッグアリーナで初勝利を飾る。

白山ユネスコエコパーク、荘川町全域が登録範囲に(3月)

ペルーのリマで開催された第28回ユネスコMAB(人間と生物圏)計画国際調整理事会で、白山ユネスコエコパークの拡張登録が承認。これにより荘川町全域が登録範囲となった。

飛驒匠の技・こころ-木とともに、今に引き継ぐ1300年-日本遺産に認定(4月25日)

高山市の「飛驒匠の技・こころ-木とともに、今に引き継ぐ1300年-」が日本遺産に認定された。

第2回飛驒高山文化芸術祭こだま〜れ2016始まる(4月24日)

3年に一度の文化芸術祭。オープニングセレモニーが市民文化会館で開催された。

高山祭屋台からくり競演(4月30日)

春の山王祭と秋の八幡祭のからくり屋台が高山陣屋前で競演。14万8千人の人出で賑わった。

議長に水門義昭さん、副議長に倉田博之さん(5月11日)

市議会5月臨時会が開かれ、議長に水門義昭さん、副議長に倉田博之さんが選出。

第32回全国削ろう会飛驒・高山大会(5月14日〜15日)

大工道具の作り手と使い手が連携し、木工技術の維持向上を図る目的で開催。会場となった飛驒・世界生活文化センターには2日間で約8千人の来場者があった。

学校給食で熊本を支援(6月)

熊本地震の被災地への理解を深め、支援につなげるため、熊本産食材を使った学校給食を市内小中学校で提供した。

外国人による日本語弁論大会(6月18日)

高円宮妃久子様をお迎えして市民文化会館で開催された。

被爆アオギリ二世を植樹(6月23日)

平成27年10月に開催した高山市平和サミットで広島市の松井市長(平和首長会議会長)から贈られた被爆アオギリ二世の苗木を昭和児童公園(ポッポ公園)に植樹した。



本拠地で初勝利を飾ったブラックブルズ

こだま〜れのオープニングセレモニーでは宮川俊二さんと菊池桃子さんのトークセッションも行われた



秋祭の布袋台が中橋を渡り、春祭の三番叟、石橋台、龍神台とからくりを披露した



水門 義昭 議長



倉田 博之 副議長



宮小学校では、熊本産のナスやトマトが入ったカレー、レンコンを使ったサラダ、スイカが出された

鉾の薄削りに国内外から850人余りの選手が挑戦した



このエリアで合宿した有名チームは箱根駅伝の青山学院大学をはじめ、全日本学生駅伝の立命館大学、全国高校駅伝の世羅高校、実業団駅伝のトヨタ自動車やデンソー、そして世界陸上のモハメドアラファール選手、リオデジャネイロオリンピックの日本レスリング男子など数多くいます。

2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックを見据え、ますます国内外から注目を集めるエリアです。

来年度上期には道中の難所、国道361号(仮称)上ヶ洞トンネルも開通の見込みです。アクセスの向上により、さらなる利用者の増加が見込まれます。

御嶽山の麓、高山・下呂両市にまたがる飛驒御嶽高原高地トレーニングエリアは、平成20年に国の指定を受けて以後、年間延べ2万5千人(うち高山市1万7500人)のアスリートが利用する国内トップレベルの高地トレーニングエリアです。

Pick up
ピックアップ

高地トレーニング
増加するアスリート合宿
東京五輪に向けて